



## そうぐみだより No.2

「もう夏?!」と思うくらい、毎日暑い日が続きますね。泥遊び・水流し・色水遊び…と、水を使った遊びの季節がやってきました。GW明けからできる限りお天気の良い日はみんなで泥んこパンツに着替えて土、泥、水に触れ合って遊ぶ時間をとっています。この時期だけしかできない遊びを十分に楽しみたいと思っています。

今月のそうぐみだよりでは忍者ごっこについて、お知らせします!



～そうぐみの にんじゃごっこ～



土曜参観でも少し見てもらいましたが、そう組の子ども達は毎日忍者になって修業に励んでいます。子ども達が楽しんでいる修業の中から様子をお知らせしたいと思います。

☆忍者ごっこをする中で様々な体の力・バランス感覚・チャレンジする気持ちがついてきています。☆

●天井から吊るされた鈴に向かってジャンプ!→揺れる鈴を目で追いながら、タイミングを図っています。そして鈴を見ながら手を伸ばしジャンプ!ジャンプをすることに鈴をタッチするということがプラスされたことでちょっと難しくなりました。「あとちょっと!指は当たった!次は絶対にタッチする」と、めあてをもって楽しんでいます。

●坂道になった平均台。並行ならば簡単に渡れるけれど、坂になると一気にドキドキ感が増したようです。そのうえ、新聞紙でつくった石がいくつも貼り付けられると、足の裏全部をつけることはできず、つま先で体のバランスをとって歩くようになってきています。

坂道平均台に挑戦しようとスタート位置にきたKくん。1回目「ちょっとこわいな…」というので手を貸して渡りました。2回目「自分でやってみる」と言い、挑戦!途中で落ちたものの、着地をする姿を見て安心。しっかりバランスをとって自分の体の使い方がわかっています。今までは先生に誘われて怖々取り組んでいたことも、“できる!”という自信がつくと、「先生、見て!」と嬉しそうな顔をして、いろいろなことに自ら挑戦しています。



猪名川公園では、幼稚園よりも高いはしごのような、うんていがあります。高い場所に平気でのぼり「先生、すごいやろ!」というYくんとRくん。「そんな高いところこわくないの?」と聞くと「全然、怖くなくなったよ!」と返事が返ってきました。今までは怖かったことが“怖くなくなった”ということが姿や言葉から感じられました。毎日続けている忍者の修業、運動遊びのチャレンジで様々な力がついてきていることを子ども達の姿から感じられます。

☆自分たちで修業の場や道具をつくることも楽しいよ☆

目新しい巧技台や跳び箱に“やってみたい!”という気持ちで取り組んでいましたが、やりたい気持ちが強すぎて、潰れたものはそのまま…先生が直してくれるだろう…、トンネルをつくったけれど、潰れちゃった…。という姿があり、このままではいけない!と話をしました。自分たちのつくったものを大切にすることや自分たちで発見してつくることも楽しいよ!と伝えると、みんな修業を中断してつくることに一生懸命になった日がありました。

※5月25日のHP“和北っ子日記 NO、32”と照らし合いながら見てくださいね！

珍しく後ろ姿が多い写真がアップされた日。なぜかというとも6枚の写真とも、子ども達が2、3人から数人の小さな集団で遊びに取り組んでいる姿だからです。

この日は、自分のめあてをもって修業をするのはお休み。みんなが友達と伝え合い遊ぶ姿が見られましたよ。

#### 上段真ん中の写真 ☆屋根づくり☆

跳び箱に登って何をしているかと言うと…。ジャンプして屋根に登る修業の場。「じゃあ、ここに屋根をつくろうよ」と大きな紙にパスで屋根をかき始めました。みんなで忍者の本を広げ「これにしよう」と見本にしてかく屋根を見つけていました。すると「こうやってかかんという、屋根に見えへんやん！」という声。見に行くと、まっすぐ長い線で屋根をかきたい子と、短く何本も線をかき子の違い。両方の思いが伝わるように、子ども達の言葉に少し言葉を足しましたが、自分の気持ちを伝えながら、手足や顔までも真っ黒になってかきあげました。「よし！貼ってみよう」と自分たちで跳び箱に上がり、「私こっち貼るからね、そっちよろしく」と協力してちょっと斜めになりながらも貼っていました。貼り終わった後「あ！マジックにすればよかったなあ」というYくん。マジックならジャンプした時つかないもんね。試してみて気づくことも大事です。

#### 下段右の写真 ☆どんでん返しづくり☆

以前作っていたどんでん返し。知っているようでどんなものか知らないまま写真を見て作っていました。実際なものを経験することは難しく（忍者村に行ければいいのですが…）どうしたらいいか…と私自身も迷っていました。「くるって回ったら隠れられるんやで」と言う、「これもうちょっと大きいほうがいいと思う」というTくん。じゃあ、大きくしよう！とみんなで扉を大きくしました。すると「あ！ほんまや！隠れたみたい！」と喜び、「横も壁をつくった方がいいと思う」と自分たちで納得のいくようにつくり進めていました。できあがると「楽しかった～！やったなあ」とみんなで、いい笑顔！

#### 上段右の写真 ☆分身の術づくり☆

「分身ってな、一人が二人になんねん！」と嬉しそうに教えてくれたKくん。「どうやったらできるかな？」と返すと、ダンボールで自分と同じ背の忍者を作ればいいんじゃないか？と考え出しました。そのアイデアにのったNくんとSくん。3人でダンボールを切りだしました。1体目、自分と同じくらいの大きさのダンボールを人間の形に切り、いろいろな色のパスで顔や服をかきました。2体目、あれ？ちょっと小さい？手足は？…そして3体目、小さなダンボールにえんぴつで描かれた顔だけ。だんだん適当になってきてない？！…と感じましたが、それをどうやって付けるか？と考えはじめていました。そこにDくんがきて「紐をつけて背中に背負ったらいいんちゃう？それで敵がきたら体の前に付けるねん」と必死に自分の考えを話します。でも3人には伝わらず「う～ん、でも違うねん」と…。それもそのはず、Dくんは“変身”だと思っていたようです。両方の思いがわかったところで、長い棒につけ始めました。その日の遊びが終わってみて感じたことが、ここまで考えている子ども達の思いを「やった！いいものができた！」と実現できるような道具を提案するのは、今はいろいろな選択肢を知っている私の仕事。「やった～！」と思えるように一緒に考えたいなあと思いました。

「自分はこう思う、こうしたい」という思いを伝え合い、遊びを進めることを楽しんでいる姿に「年長らしくなってきたな！」と感じました。簡単な言葉だったり、相手に伝わらないこともあります。今はそこに言葉を足したり、思いに共感したりしながらお互いの気持ちを理解できるように中に入っています。“伝えたい”という気持ちを大切にしたいと思っています。

体を十分に動かして遊ぶ楽しさ、自分たちで遊びをつくっていく楽しさ…いろいろな形で楽しんでいる子ども達。6月の姿もお楽しみに…。

